

授業科目名	海洋スポーツ	授業形態	実技	授業科目区分	専門科目 (関連実技科目)
担当教員名	榮樂 洋光・中村 夏実			補助担当者名	
単位数	1 単位	履修年次	2年次	受け入れ人数	40名
授業の概要	<p>現在の日本社会において、子どもの発育発達における体験活動の重要性、多様な生涯スポーツ種目のニーズが高まっています。加えて「海洋基本計画」にもとづく我が国の海洋立国政策を背景に、国民に広く海洋を理解してもらうためにも、海洋スポーツ活動および水辺活動に造詣の深い人材が求められています。</p> <p>そこで本授業では、まずは自らが海洋スポーツを楽しむことを前提とし、学習した海洋スポーツ種目について、安全性を認識し、判断力を持って自ら楽しみ、自ら片づけることができる能力を養います。</p> <p>そのために、以下の授業内容を展開します。</p> <p>セーリング種目であるヨットおよびローイング系種目であるカヌーを中心に、初歩的な技術の習得をめざす。</p> <p>安全性を認識し、判断力を持って活動するための、基礎的な海事知識を学ぶ。</p> <p>必要な道具の準備・水洗い・収納方法を学ぶ。</p> <p>なお、本事業は2時限続きで行われます。定員は40名とし、20名ずつの2班に分かれてヨットとカヌーを交代で実施します。</p>				

授業の到達目標及び成績評価の方法	授業の到達目標		成績評価の方法						
	D Pで 目指す 資質・ 能力	実技力、実技指導力 ( )	授業期間				定期 試験	その他	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表			
認知的領域	海洋スポーツを安全に行うための海事知識および技術習得に必要な知識について理解する。 筆記テスト20点、レポート30点(5点×6回)							50	
情意的領域	指導者およびリーダーの指示をよく理解し、準備、出艇、片付けに協力して、積極的に取り組む。							20	
技能的領域	海洋スポーツに主体的に取り組むための判断力を養う。初歩的な技術を習得し、自ら準備し、自ら楽しむ、自ら片づけることができる。							30	

成績評価の基準 80点以上はA、70点～79点はB、60点～69点はCとする。出席回数が3分の2に満たない場合には履修放棄とみなす。

テキスト、教材参考書 海洋スポーツテキスト(鹿屋体育大学海洋スポーツセンター編・「基礎から学ぶ海洋スポーツ」)、その他必要に応じて提供。

履修条件・関連科目	<p>医師により海でのスポーツや水に入ることが禁忌と診断されているものは事前に相談してください。受講に関する条件・準備等は、掲示します。</p> <p>授業は2時限目と3時限目に連続して行われます。1日欠席すると2回分の欠席となります。試合等で3日以上欠席すると6回分の欠席となり、出席日数は不足します。履修の際にはこの点について十分に考慮してください。</p>	備考(教員メッセージ含む)	<p>1) 道具の都合上、40名以下の受講者数に限定します。海洋スポーツ と の両方を受講することはできません。</p> <p>2) 天候により授業内容が変更されることがあります。</p> <p>3) 授業は海洋スポーツセンターおよびセンター前の海上で実施します。海洋スポーツセンターへの移動手段は、スクールバスに限りです。</p> <p>4) 授業内で、学生への教育的効果を高めるために、授業実施の様子をビデオカメラ等で撮影することがあります。なお、撮影した映像は、原則として学内での教育・研究活動にのみ使用します。</p>
-----------	---	---------------	---

オフィス・アワー 随時。ただし事前に連絡してください。研究棟709室または海洋スポーツセンター(0994-47-2758)  
(E-mail) kaispo@nifs-k.ac.jp

授業計画

回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)
1	榮樂 洋光 中村 夏実	オリエンテーション・海洋スポーツに取り組むための基礎知識と態度(講義) 施設の利用法、用具の使い方、ビーチクリーンアップ、水慣れ(実技)	実施週の金曜までにレポート提出 海洋スポーツについての事前学習とふりかえり(1時間)
2	"	準備、小型ヨットの艦装および出艇、着艇、帆走(1)、片付け	海洋スポーツについての事前学習とふりかえり(1時間)
3	"	準備、小型ヨットの艦装および出艇、着艇、帆走(2)、片付け	実施週の金曜までにレポート提出 ヨットの基本について予習・復習(1時間)
4	"	準備、小型ヨットの転覆とリカバリー、片付け	ヨットの基本について予習・復習(1時間)
5	"	準備、小型ヨットの帆走(方向転換:タッキング)、片付け	実施週の金曜までにレポート提出 ヨットの基本について予習・復習(1時間)
6	"	準備、小型ヨットの帆走(方向転換:ジャイピング)、片付け	ヨットの基本について予習・復習(1時間)
7	"	準備、小型ヨットの帆走(風上・風下への帆走)、片付け	実施週の金曜までにレポート提出 ヨットに関する習得知識をまとめる(1時間)
8	"	準備、小型ヨットを用いたレース、片付け	ヨットに関する習得知識をまとめる(1時間)
9	"	準備、カヤックの漕法と沈起こし(シットオントップ)、片付け	カヌーの基本について予習・復習(1時間)
10	"	準備、カヤックの漕法と沈起こし(シングルカヤック)、片付け	実施週の金曜までにレポート提出 カヌーの基本について予習・復習(1時間)
11	"	準備、カナディアンカヌーの漕法と沈起こし、片付け	カヌーの基本について予習・復習(1時間)
12	"	準備、カナディアンカヌーの漕法と沈起こし、片付け	実施週の金曜までにレポート提出 カヌーの基本について予習・復習(1時間)
13	"	カヌーツーリングの計画と実施 準備、シットオントップorスノーケリング、片付け	カヌーに関する習得知識をまとめる(1時間)
14	"	カヌーツーリングの計画と実施 準備、シットオントップorスノーケリング、片付け	カヌーに関する習得知識をまとめる(1時間)

15	"	準備、シングルカヤックの漕方とレクリエーション、片付け	海洋スポーツに関する習得した知識と技術のまとめ(1時間)
16	"	筆記テスト	海洋スポーツに関する習得した知識と技術のまとめ(1時間)

授業科目名	海洋スポーツ	授業形態	実技	授業科目区分	専門科目 (関連実技科目)
担当教員名	榮樂 洋光・中村 夏実			補助担当者名	
単位数	1 単位	履修年次	2年次	受け入れ人数	40名程度
授業の概要	<p>現在の日本社会において、子どもの発育発達における体験活動の重要性、多様な生涯スポーツ種目のニーズが高まっています。加えて「海洋基本計画」にもとづく我が国の海洋立国政策を背景に、国民に広く海洋を理解してもらうためにも、海洋スポーツ活動および水辺活動に造詣の深い人材が求められています。</p> <p>そこで本授業では、まずは自らが海洋スポーツを楽しむことを前提とし、学習した海洋スポーツ種目について、安全性を認識し、判断力を持って自ら楽しみ、自ら片づけることができる能力を養います。</p> <p>そのために、以下の授業内容を展開します。</p> <p>セーリング種目であるヨットおよびローイング系種目であるカヌーを中心に、初歩的な技術の習得をめざす。</p> <p>安全性を認識し、判断力を持って活動するための、基礎的な海事知識を学ぶ。</p> <p>必要な道具の準備・水洗い・収納方法を学ぶ。</p> <p>なお、本事業は2時間限続きで行われます。定員は40名とし、20名ずつの2班に分かれてウィンドサーフィンとカヌーを交代で実施します。</p>				

授業の到達目標及び成績評価の方法	授業の到達目標		成績評価の方法						
	D Pで 目指す 資質・ 能力	実技力、実技指導力 ( )	授業期間				定期 試験	その他	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表			
認知的領域	海洋スポーツを安全に行うための海事知識および、技術習得に必要な知識について理解する。筆記テスト20点、レポート30点(5点×6回)							50	
情意的領域	指導者およびリーダーの指示をよく理解し、準備、出艇、片付けに協力して、積極的に取り組む							20	
技能的領域	海洋スポーツに主体的に取り組むための判断力を養う。初歩的な技術を習得し、自ら準備し、自ら楽しみ、自ら片づけることができる。							30	

成績評価の基準 80点以上はA、70点～79点はB、60点～69点はCとする。出席回数が3分の2に満たない場合には履修放棄とみなす。

テキスト、教材参考書 海洋スポーツテキスト(鹿屋体育大学海洋スポーツセンター編・「基礎から学ぶ海洋スポーツ」)、その他必要に応じて提供。

履修条件・関連科目	<p>医師により海でのスポーツや水に入ることが禁忌と診断されているものは事前に相談してください。受講に関する条件・準備等は、掲示します。</p> <p>授業は2時間目と3時間目に連続して行われます。1日欠席すると2回分の欠席となります。試合等で3日以上欠席すると6回分の欠席となり、出席日数は不足します。履修の際にはこの点について十分に考慮してください。</p>	備考(教員メッセージ含む)	<p>1) 道具の都合上、40名以下の受講者数に限定します。海洋スポーツ と の両方を受講することはできません。</p> <p>2) 天候により授業内容が変更されることがあります。</p> <p>3) 授業は海洋スポーツセンターおよびセンター前の海上で実施します。海洋スポーツセンターへの移動手段は、スクールバスに限りません。</p> <p>4) 授業内で、学生への教育的効果を高めるために、授業実施の様子をビデオカメラ等で撮影することがあります。なお、撮影した映像は、原則として学内での教育・研究活動にのみ使用します。</p>
-----------	---	---------------	--

オフィス・アワー 随時。ただし事前に連絡してください。研究棟709室または海洋スポーツセンター(0994-47-2758)、(E-mail) kaispo@nifs-k.ac.jp

授業計画			
回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)
1	榮樂 洋光 中村 夏実	オリエンテーション・海洋スポーツに取り組むための基礎知識と態度(講義) 施設の利用法、用具の使い方、ビーチクリーンアップ、水慣れ(実技)	実施週の金曜までにレポート提出 海洋スポーツについての事前学習とふりかえり(1時間)
2	"	準備、ウィンドサーフィンの艦装、出艇、着艇、プレセーリング動作の習得、片付け	海洋スポーツについての事前学習とふりかえり(1時間)
3	"	準備、ウィンドサーフィンの艦装、出艇、着艇、帆走、リカバリー、片付け(1)	実施週の金曜までにレポート提出 ウィンドサーフィンの基本について予習・復習(1時間)
4	"	準備、ウィンドサーフィンの艦装、出艇、着艇、帆走、リカバリー、片付け(2)	ウィンドサーフィンの基本について予習・復習(1時間)
5	"	準備、ウィンドサーフィンの帆走(方向転換:タッキング)、片付け	実施週の金曜までにレポート提出 ウィンドサーフィンの基本について予習・復習(1時間)
6	"	準備、ウィンドサーフィンの帆走(方向転換:ジャイピング)、片付け	ウィンドサーフィンの基本について予習・復習(1時間)
7	"	準備、ウィンドサーフィンの帆走(風上・風下への帆走)、片付け	実施週の金曜までにレポート提出 ウィンドサーフィンに関する基礎知識をまとめる(1時間)
8	"	準備、ウィンドサーフィンを着いたレース、片付け	ウィンドサーフィンに関する基礎知識をまとめる(1時間)
9	"	準備、カヤックの漕法と沈起こし(シットオントップ)、片付け	カヌーの基本について予習・復習(1時間)
10	"	準備、カヤックの漕法と沈起こし(シットオントップ)、片付け	実施週の金曜までにレポート提出 カヌーの基本について予習・復習(1時間)
11	"	準備、カナディアンカヌーの漕法と沈起こし、片付け	カヌーの基本について予習・復習(1時間)
12	"	準備、カナディアンカヌーの漕法と沈起こし、片付け	実施週の金曜までにレポート提出 カヌーの基本について予習・復習(1時間)
13	"	カヌーツーリングの計画と実施 準備、シットオントップorスノーケリング、片付け	カヌーに関する基礎知識をまとめる(1時間)
14	"	カヌーツーリングの計画と実施	カヌーに関する基礎知識をまとめる(1時間)

		準備、シフトオントップor スノーケリング、片付け	
15	"	準備、シングルカヤックの漕方とレクリエーション、片付け	海洋スポーツに関する習得した知識と技術のまとめ（1時間）
16	"	筆記テスト	海洋スポーツに関する習得した知識と技術のまとめ（1時間）